

Amir Tsarfati 氏 2018年5月24日公開 嵐の前の静けさ

(2018.5.24 Grace Chapel, Leiper's Fork, Tennessee)

ありがとうございます。皆さんこんばんは。イスラエルやオーストラリアにおられる皆さん、おはようございます。現在、たくさんの方がインターネットでご覧になっていますので、きちんとご挨拶してみました(笑)。今夜は、この15か月ほどの間に起こった事、特に中東での出来事について、皆さんにお伝えする、とても素晴らしい機会です。

昨夜、私は、生命尊重派の催しに参加させていただいたのですが、そのイベントのメインスピーカーはトランプ大統領でした(会場歓声、拍手)。



Figure 1 生命尊重派の Gala デイナーで演説するトランプ大統領

そうです！あの8年の後、今は皆さんがどれだけ恵まれているか、ご存知ないかも知れませんが。

私たちは確かに、歴史的時代に生きています。

皆さんがそれを理解されているか分かりませんが、私はイスラエル人として、毎朝目を覚ますと、自分をつねってみて、これが現実なのかどうかを確かめるのです。

今、私たちの周りで起こっていることは本当に現実なのか？

もちろん、私はこれについてずっと語って来ましたが。

ただ、私がこの15年、20年、どれぐらいたか分かりませんが、ずっと伝えて来た事、——イラン、ロシア、トルコが一緒になるとか、シリアのダマ

スカスに起こることとか——それについてずっと語って来ましたが、今、私たちはそれを見ているのです。全く別の次元です。

それから、世界でナンバーワンの大国が「エルサレムはイスラエルの首都である」と承認しているのを目にするのは、非常に感動的です(会場歓声、拍手)。しかも彼は、それを行動に移し、イスラエルの70周年記念日に大使館をそちらに移動させたのです。

皆さん、わかりますか？イスラエル人たちは

「これは現実なのか？」と自問自答しているのです。

「私たちはいつ、この人から攻撃されるのだろうか？」

現実にしては、素晴らしすぎるのです。

それほど、これは良い事なのです。

私が心底素晴らしいと思うのは、トランプ大統領はイスラエルを支援し、エルサレムを支援するだけでなく、まだ生まれていない命を支援しています(会場拍手、歓声)。



Figure 2 エルサレムに移転したアメリカ大使館の定礎石

命と、いのちの尊厳に感謝出来る人となら、一緒に前進することが可能です。彼がもし、命の尊厳をないがしろにする人であったなら、彼が世に差し出す和平合意の全てが、私には無意味に見えたでしょう。

本来、平和のために和平合意は必要ないのです。実際には、私たちが平和を持つために必要なのは、神の平安だけです。



Figure 3 あのロイヤルウェディング…

ですから今は、確実に歴史的瞬間です。そして、あまりにも多くの人が、自分たちのロイヤルウェディングではなく、あのロイヤルウェディングに興味津々なようです。

大して重要でもない世の事に、人々がより関心を示して、世界中で起こっている最も大切な事を見逃しているのを目にしていると、残念でなりません。

「エルサレムを認識する事の歴史的重要性を教会で教えているか？」

と聞いてみると、多くの人々が

「いいえ、私たちはそう言ったことは話しません。」

と言います。そこで、

「何故話さないのか？エルサレムは聖書に出て来るのに？」

と聞いてみると、彼らは

「政治の話はしたくない」

と言います。

そこで、エルサレムはいつから政治的な問題になったんだろうか？と思うのです。

考えてみてください。

聖書の中に、1,000回近く出て来るのです！

それはイスラエルの首都であり、そこはイエスが昇天した場所。そして彼が戻って来られる場所であり、ここは、彼がご自身を現わされる場所。そして、そこで彼の民ユダヤ人たちが、彼を見、自分たちの突き刺した方を見て嘆き悲しみ、悔い改めて、彼を受け入れ、ローマ書11章には「イスラエルの全家が救われる」とあります。

それはエルサレムが、彼らの手中になれば起こりません。

そして、その国がそこに存在し、彼らがそこに住んで初めて、それが起こり得るのです。いつからこれが政治になったのでしょうか？

このように、教会はどんどん流行りに流され、探求する者に優しく、教義に妥協するようになってきており、そして激しく崩壊しています。

それは創造の話、創世記全体から始まっていて、もう、それは教えられていません！

統計では、世界中の教会であの書は、もはや教えられていないのです。

ダーウィニズムや進化論のために、“6日間の創造物語のフィクション”を教えても意味がない、と彼らは考えています。それが彼らの言い分です。

そこで、考えてみてください。

誰かに、悔い改めの必要を伝えたところで、罪がないのなら、何のためですか？

もし罪があったとして、その始まりがエデンの園ではないのなら、それはどこから始まったのですか？

このように、はるか創世記にまでさかのぼらないことには、本当にイエスを伝えることは出来ません。

そして創世記3章で、すでにイエスが約束されているのです。

ですから、救いの教義全体が、完全になくなってしまいます。

また、福音の話の基盤になっている創世記がもはや教えられていないだけでなく、それに加えて悔い改めの必要性も、イスラエルの全役割も、人々から完全に隠されています。

人間には理解しがたいのですが、しかしイスラエルは目的があって、一時の間、神が選ばれた国です。そして神は、彼らを通して、そのご計画を進め、全世界に対してご自身を明らかにされるのです。

ですから、その部分を切り取り、その全てを取り除いてしまうなら、基本的には全世界の救いという、神の救いのご計画全部を妨げることになります。

彼らを通して、唯一の神への信仰が与えられ、

彼らを通して、神の御言葉が与えられ、

彼らを通して、神の御子が与えられました。

これらは必要な事であり、そして当然、主は彼らのところに戻って来られます。

これらは、主が、彼らによって、彼らを通して、彼らのために行われることで、そのため、主は何かをされるたび、こう言われます。

「これによって、わたしが主であることを、諸国が知る。」

ですから、こう言ったことを見ると、私はとても気になるのです。人々は、自分の事だけを考え、神の選びや、神がイスラエルの民と共にされたことを話そうとしません。

ところで、主が、イスラエルの民にされたのは、皆さんが同じ間違いを犯さないためですよ！皆さんがそこから学ぶためです。

ただ、聖書には使徒の働き17章で、パウロはアテネの町を訪れています。

そこは、「自分は何でも知っている」と考える知者たちで溢れていました。

そして、彼はこう言っています。

30 神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、…

(使徒の働き 17:30a)

つまり、あまりにも多くの他の神々を礼拝し、あまりにも多くの他の道に従って行くうちに、あまりにも遠くかけ離れてしまうのです。

「神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、」

さあ、皆さん、一緒に！

「が、今は！」

主は、全ての人に、

皆さん、言ってください！

「すべての人に」

「ある人たちに」ではありません。

30 …今は、どこでもすべての人に悔い改めを命じておられます。

(使徒の働き 17:30b)

皆さん、言ってください！

「どこでも」

何をですか？

「悔い改めを命じておられます。」

このように、もし悔い改めを取り除いてしまうなら、何もなくなります。それまでです。ですから、

「今、神は、どこでも、全ての人に、悔い改めを命じておられます。」

31 なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの確証をすべての人にお与えになったのです。

(使徒の働き 17:31)

驚きですね？

ということで、それまでです。もはや言い訳はできません。

神は、無知の時代を見過ごしておられましたが、今のあなたがたはそうはいかないのです。もはや「知らなかった」とは言えないのです。そこにあるからです。イスラエルや中東において、これまで以上に神の御手があるのを見ようとせずに、皆、人々を恐れさせる政治に大忙しです。

ところで、これは教会の中でも、説教台からも、多くの人々がしていることです。

戦争が起こる！戦争が起こる！

戦争だ！戦争だ！

戦争だ！！

実際には、現在、神は私たちに平和の時間、穏やかな時間を与えてくださっているのだ、ということを理解していません。

今は、実に「嵐の前の静けさ」です。

サタンが、人々を恐怖に陥れようとしているのはお分かりでしょうか？

あれをしなければ！

もし、イラン協議から撤退するなら、戦争が起こる！

もしこれをするなら、あれが起こる！

皆が皆を脅かしています。政治家たちは、脅しの達人です。

だから昨日、私は本当に楽しんだのです。トランプ大統領は立って、自信たっぷりに言いました。

「アメリカは、世界中で地位を回復した。」

それから彼は、

「今は、皆が我々に敬意を示している。事実、彼らが我々に話しに来るのは、我々との和平であって、我々との戦争ではない。」

と言いました。

「強さの中の平和」です。

ということで、政治家たちは常に人を恐れさせようとしています。

ただ私は、政治家たちのことは何とも思っていないんですが、残念ながら教会の中でも、非常に多くの方が同じことを行なっています。

「戦争が起こる！」

また多くの方が言っています。

「詩篇 83 篇に書かれていることが、間もなく起こる！」

「イスラエルが、全周辺諸国から攻撃される！」

「準備をしろ！」

それから、エルサレムポストの記事を引用して言います。

「イスラエルの予備軍が、今、国境全域に配備している。国家非常事態だ！」

私はあちらに住んでいますが、彼らが何のことをいっているのか、さっぱり分かりません！（笑）新聞ですら、間違っている可能性があるのです。

私は周りを見回し、——もちろん、エルサレムではそんなことは一度も聞いていませんし、物凄く心が痛みます。目的があって一時的にこの平和が与えられている意味を理解せずに、何故いつも私たちは、戦争のことばかり考えているのだろうか。

それから興味深いのは、よく考えてみれば、詩篇 83 篇はイスラエルの周辺諸国、イスラエルと国境を共にしている国々のことを言っているのです。そして彼らがイスラエルに攻めて来る目的は、

4 …「さあ、彼らの国を消し去って、イスラエルの名がもはや覚えられないようにしましょう。」

（詩篇 83:4b）

それから聖書は、彼らの名前を伝えています。しかもそのうちの半分は、もう存在しないか、ヨルダンやエジプトのように、現在イスラエルと平和があるかのどちらかです。

さらには、信じがたいかも知れませんが、はるかサウジアラビアや、湾岸諸国も、今ではイスラエルとの戦争ではなく、イスラエルとの和平について語っているのです。皆さん、理解しなければなりません。今、イスラエルに敵対して、戦争をしようと備えている国々は、イスラエルと国境を接していない国ばかりです。ロシアやトルコ、イラン、スーダン、リビア。彼らは、イスラエルとは国境を共にしていません。彼らは、敗北を味わったことのない国々です。イスラエルによる敗北ではなく、主による敗北、イスラエルを守られる方です。彼らは今まで一度も、それを味わったことがありません。

また、中東の戦争は、常に権力と支配が目的です。それは、起こりますよ？

心配しなくても、それは起こります。こうして話をしている間にも、今日——中東では既に真夜中ですが、ともかく今日、三ヶ国で、三つの異なる緊急会議が行われています。

トルコでは、トルコ中央銀行が緊急会議を開いています。トルコのリラが暴落しており、1アメリカドルが2リラだったのが、今日は5リラ近くまで下落しています。彼らはもう、どうして良いのか分からず、エルドアンのために経済が崩壊しています。

イランでは、皆さんの大統領（トランプ）に感謝な事に、1千億ドル以上の取引を失ったばかりです。1千億ドル！（会場拍手）

そして、ヨーロッパが今日、非常に重要な大きな会議を開いています。なぜなら、彼らはイランの資金に懸けたからです。分かりますか？この2~3年ほどの間の、彼らの動きは全て、将来的なイランとの取引が基とな

っていました。それが、イランが全てを失ったのです。そこへアメリカの大統領です。

「アメリカは、これまでになかったほどに順調だ。」

経済は上向き、失業率は記録的な低さ。

アメリカは間もなく、世界最大の石油とガス輸出国となります。(会場拍手)

皆さん、理解しておいてください。

次の戦争が起こるためには、——それは起こりますよ？

私は、預言者（Prophet）ではありません。

私は、“Non-Profit Organization”（非営利団体）の人間ですよ？（笑）皆さん、ご存知ですね？しかし聖書が、戦争は起こると告げています。私は、それに異論はありません。しかし、次に実際の戦争が起こる前に、まず、平和と繁栄の時代が必要なのです。

ある人たちは、あなたがイスラエルに行くと言うと、危険だとか言って怖がらせるでしょう。しかし一週間ほど前に、私はイスラエルでツアーを引率したばかりです。イランの代理が32発のミサイルをゴラン高原に向けて発射した時です。32発のうち、28発がシリアに落下して、4発はイスラエル撃墜しました。その時の、私のグループの最大の危険は、食べ過ぎでした（笑）。翌朝、私が言うまで、彼らはそれについて聞いてもいなかったのです。あちらの危険度は、その程度です。

皆さん、私たちには今日ほどの平和は、これまでありませんでした。

皆さん、理解しておいてください。私の家族は、ホロコーストの生存者です。

私の祖父母は、アウシュビッツを生き残りました。

彼らが初めてイスラエルに到着した時、イスラエルが存在し始めて最初の10~15年間は、イスラエル国内の一人一人が、生きて明日を迎えられるか分からなかったのです。

私たちは、非常なストレスを抱えていたのです。

私たちには十分な武器もなければ、きちんとした軍隊もなく、我々を助けに来てくれる味方国もなかったのです。私たちには、他の国に食い尽くされるための条件が、すっかり揃っていました。そこに私たちは、見事な神の御手を見たのです。

1948年、1956年、1967年、1973年。私たちは、次から次へと、神の御手を見ました。そして敵は、私たちとは戦えないと判断したのです。

ヨルダンももう戦わないと決め、彼らは1973年の戦争では、加わることもしませんでした。

それからエジプトも、和平を持った方が良いと決め、1979年、彼らは私たちと和平を結びました。これは、イスラエルの力ではなく、イスラエルのために戦われた神の力が、我々の周りのこれらの大国に、「彼らと戦っても意味がない」と確信させたのです。(会場拍手) ですから、その視点から見て、これらの平和を持つのに、現在私たちには平和条約は必要ありません。念のために言っておくと、中東では、条約は大して役には立ちません。反キリストでさえ、登場して7年の和平を提案しますが、それを3年半以上維持できないのです。その時の世界指導者は、平和を差し出し、それによってユダヤ人の目にも、世界の目にも、彼がメシアとまで映るのに、それでも3年半以上は維持できないとは、まったく情けない話です。

ともかく、真の権力が興るには、地球上で最も強力な大国が背後にあって初めて、可能になります。そして、

イスラエルが誕生した日以来、私たちは今日ほどアメリカの支援を受けた日はありません。(会場拍手) 皆さんに言うておきますと、トルーマン大統領が、イスラエルを国家として承認した1948年でさえ、国務省は賛成ではなかったのです。皆さんがこれをご存知かどうか分かりませんが、ジョージ・マーシャル国務長官は、その事で辞任を脅しました。彼は、それは間違っただと考えていたのです。

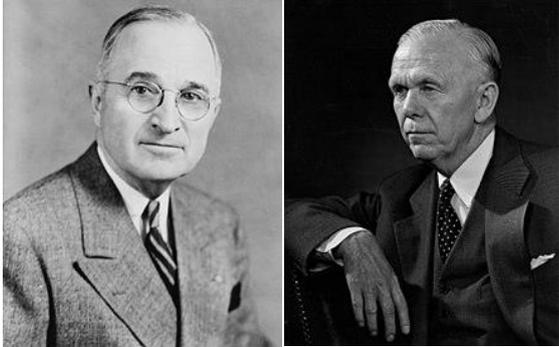


Figure 4 トルーマン米元大統領 (左) とマーシャル米元国務長官 (右)

皆さん、理解しておいてください。当時は、大統領一人でした。

しかし、こんにち、全政権がイスラエルの背後にいるのです。こんにち、皆さんのところには、政府のあらゆる支部に、新生し、聖霊に満たされ、イスラエルを愛し、支援する官僚たちがいるのです。これは信じられないことです。(会場拍手) 中東での本当の戦争は、ガザや、ヒズボラから飛んで来る、

数発のロケットではありません。それは戦争ではありません。イスラエルでは、戦争は起こっていません。戦争とは、大国の軍隊による攻撃です。聖書には、大きな雲が嵐のように国を覆う、と書かれています(書記注: エゼキエル 38:9 参照)。だから私は、今を「嵐の前の静けさ」と表現しているのです。その時が来れば起こる戦争に関して、聖書には恐ろしくゾッとするような描写が成されていますから。それは地を覆う雲のようになる、とあり、誰もこれを見逃すことがなければ、他に解釈のしようがありません。

ところで、世界大戦ですが、エゼキエルが告げているのは、はるばる北の果てからはロシア、それとアジアからはトルコ、そしてイラン。それに、ある者はヨーロッパから、アフリカからはスーダン。全方向からやって来て、これはミニ世界大戦です。そしてこれは、イスラエル史上初めて、イスラエルがロシアのような大国から攻撃されるのです。これまでではと言えば、エジプト、ヨルダン、シリア、レバノン、どこもそこまで大きいものではありませんでした。それが世界の大国が、イスラエルに攻めて来るのです。そして、もう一つの大国アメリカは、イスラエルを守りません。これは、こんにち私たちが目にしているのと、非常に異なるものです。その戦争が起こる時、アメリカは明らかにそこにはおらず、恐らく、イスラエルを助けることが出来ないでしょう。それについては、後ほど見ていきますが、とにかく、現在のアメリカ政権は、この50年間で見て来たものとは全く違います。

ここで皆さん、理解しておいてください。過去にも、イスラエルを助けた大統領が数人いました。1948年のトルーマンは、ユダヤ人と、ユダヤ人の伝承、ユダヤ人との友情を愛していました。彼はユダヤ人と共に成長し、彼の専門である服飾業界や、その他にもユダヤ人がいました。

しかしながら、1973年、多くの人が「憎らしいけど好きなニクソン大統領」、皆さんがご存知かどうか分かりませんが、私たちが1,600人の兵士を失った、最も悲惨な戦争の時、彼はそこにいたのです。イスラエルがもう少しで絶滅しそうになった戦争、イスラエルの暦の上で最も聖なる日、ヨム・キプールに起こった戦争です。その戦争の二日目に、ゴルダ・メイア(首相 当時)は、リチャード・ニクソンに電話をかけて言いました。

「大統領、もしアメリカがこれから24~48時間以内にイスラエルを助けてくれなければ、イスラエルの存在は消滅します！」

ニクソン大統領は一瞬黙って、それから答えました。

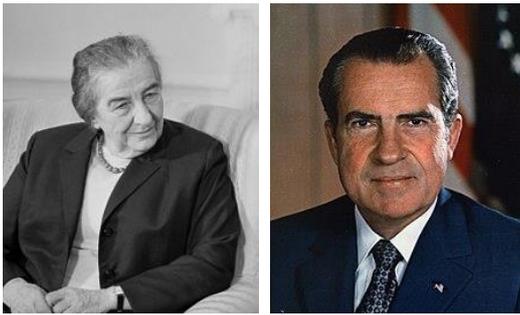


Figure 5 ゴルダ・メイア イスラエル元首相 (左)
とニクソン米元大統領 (右)

「ゴルダ、私が子どもの頃、母は毎日聖書の話を読んでくれたのですが、ある日、母が読むのを止めて、私に言ったことを思い出しました。

『リチャード、あなたにユダヤ人を助ける機会が与えられた時には、必ず彼らを助けると、私に約束してちょうだい!』

それから彼は言いました。

「ゴルダ。私は、自分がアメリカの大統領になった理由が今、初めて分かった気がします。」

皆さん、この電話での会話が終わった後、彼はペンタゴンに電話をして、第二次世界大戦以来、最大の軍備を空輸し、それか

ら 72 時間以内に、全てが終わりました。

イスラエルは敵を押し戻して、私たちは生き残り、彼らはイスラエルから 1 平方インチたりとも占領しませんでした。しかし、あれは良くありません。

このように、トルーマンの時代にイスラエルが建国し、それからニクソンの時代には、アメリカの力に頼って、イスラエルは生き残りました。

しかし、こんにち、私たちが見ているのは全く別のものです。

今、我々が見ているのは、先を見越した行動です。イスラエルが助けを求めて電話をする、というようなものではありません。今は政権が言っているのです。

「我々は、エルサレムがイスラエルの首都であると信じている。」

「我々は、大使館をエルサレムに移転する。」

ところで、これから数ヶ月の間に、アメリカは、ゴラン高原におけるイスラエルの主権も承認する、と言う話が出ていますよ、念のため。(会場拍手)

皆さん、数年前の状況を思い出してください。

ほんの 2 年半前、ベニヤミン・ネタニヤフは、国連総会の演壇に立って、約 30 秒間沈黙しました。



Figure 6 2015 年 10 月、国連演説での怒りの沈黙

イスラエルを全滅させようとした試みに、沈黙した人々によって、彼は侮辱を受けたのです。イスラエルの破滅を公に叫ぶ諸国に対して、国々は何もしようともしませんでした。彼は屈辱を受け、孤独で、たった一人だと感じたのです。そこで、

「あなたが私の敵であろうと味方であろうと、そんな事はどうでも良い。我々は、国の防衛のためならどんなことでもする」

と彼は考えていました。あの瞬間を、彼は決して忘れないでしょう。

ほんの数年前、私たちはすっかり孤立していたのです。

アメリカ合衆国も、同様でした。

アメリカは、ほんの 2 年前まで、世界新秩序の創設を率先していた主要勢力だったのです。

皆さん、理解しておいてください。

アメリカの利益は、政権の利益ではありません。

これは明確にしておくべきです。

そして、この国と、世界中の非常に多くの人たちの祈りを、私たちは見ました。

聖書には、ヤコブの手紙にこうあります。

16 …義人の祈りは働くと、大きな力があります。

(ヤコブの手紙 5:16b)

そしてアメリカは、どん底に落ちるギリギリ一歩手前、落ちるまであと1インチも残っていなかったところを、神が、そのあわれみのゆえに止められたのだと、私は心底信じています。(会場拍手)

祈りは聞かれる！

これは、疑う余地もありません。

アメリカは、今、再び尊敬されるようになりました。

この72時間の中に、イランとの取引を一切止めると決断した企業の名前を、今から読み上げて行きます。

- ① ボーイング
- ② エアバス
- ③ ブリティッシュ・ペトロリアム
- ④ フランスの大手石油会社トタル
- ⑤ ポーランドの大手石油会社 PGNIG
- ⑥ こういった企業に融資するドイツの大手銀行 DZ Bank
- ⑦ イタリアの大手石油・ガス会社 Eni
- ⑧ フランスの大手自動車製造会社ルノー
- ⑨ シトロエン
- ⑩ プジョー
- ⑪ デンマークの大手運送会社モラー・マースク
- ⑫ デンマークの大手石油タンカーのトーム

これらの会社は、自分たちの政府が何か決定するのを待たず、速攻で撤退しました。

アメリカと取引をするためです。(会場拍手)

アメリカは、ほんの2年前までは、このような敬意を受けられるとは夢にも思っていませんでした。祈りが聞かれる様子には、実に感動します。

イスラエルは昨年、数兆立方フィートという量のガスと石油を、中東で発見しました。ところで私は、これこそがロシアを中東に引きずり込んだ鉤である、と思っています。彼らがシリアまで来たのは、バッシャール・アサドを心配したからではありません。彼らは、地中海の自分たちの利益を維持したいのです。別の言い方をすれば、彼らは“分捕りもの”を享受したいのです。



ほんの数日前、イスラエルの首相が FOX ニュースの Judge Jeanine のインタビューを受けていましたが、それは非常に衝撃的でした。

彼はこんなことを言ったのです。

Figure 7 インタビューに答えるネタニヤフ首相

「ロシアは、シリア国内にいるイランとは同意していません。イランは、ロシアの“分捕りもの”の競合相手だからです。」

考えてみてください。

“分捕りもの”ですよ？

私は、彼は絶対にエゼキエル 38 章を読んだはずだ！と思いました。

なぜかと言えば、この戦争の全目的は“分捕りもの”ですから。これは宗教や伝統や政治とは一切関係ないのです。全ては“分捕りもの”のためです。

聖書は、かれらはただ物を分捕るため、かすめ奪うためにやって来る、と告げています（エゼキエル 38:12 参照）。

イスラエルは今や、世界中からテクノロジー、発明大国として認識されています。

私たちは空気から水を採取します。皆さんがくしゃみをすれば、私たちは飲むのです（笑）。イスラエルの牛は最も生産性の高い牛——文句は言いますよ！しかし、生産します。世界で最も生産性の高い牛で、全ての“モー”がコンピュータ管理されています。

イスラエルはサイバーセキュリティでも世界最先端国ですし、武器システム、防衛システムでさえ、世界中が私たちのシステムを購入しています。

イスラエルの首相事務所は、唯一、ホワイトハウスに次いで世界で二番目に、多くの世界指導者たちが訪れる事務所です。信じられません。

そして先ほども言いました通り、アメリカは、再び味方国の尊敬を取り戻しました。トランプ大統領が受け入れられる様子を見てください。



Figure 8 サウジアラビアで大歓迎を受けるトランプ米大統領（左）と冷遇されるオバマ元米大統領（右）

彼がサウジアラビアを訪れた際には、これまでサウジがアメリカ大統領をあんな風に受け入れたことはありません。史上初めてです。バラク・オバマがサウジアラビアに行った時は、誰も空港で待機していませんでした。本当ですよ！ご自分で調べてみてください。

皆さん、アメリカは臆することなく、

「これは悪者、これは良い者。お前たちは退け。我々はあなたに対応しよう。それだけだ！」

と言っているのです。

「あなたがたはこれ以上、騙すことも出来なければ、嘘をつくことも欺くことも出来ない。我々は、あなたがたのしていることを知っている。あなたがたが騙していることは、我々も目にしているし、我々には分かっている。あなたがたは、今後はその結果を背負うのだ。」

アメリカは、あらゆる予測を超えて、現在繁栄しています。

皆さん、現在起こっていることを理解しておられますか？

失業率は過去最低、といっても、この30年とか20年、一般的に15~20年の間でしょうか。そこからラテン系とか、アフリカ系など分類して、どこを見ても少なくともこの20年間で過去最低の失業率です。アメリカのいくつかの場所では、皆さんご存知ないでしょうが、仕事の方が人手よりも多いのです。ご存知でしたか？中には大学に、「早く学生を卒業させてほしい」と頼む人もいます。彼らの会社では、働き手が必要だからです。信じられません。私たちは、これまで経験したことのないような時代を享受しているのです。

そこで皆さん、次のことを理解しておいてください。

御座についておられる神が、アメリカと、それからイスラエルにも非常に特別な静寂と平和と繁栄の期間を与えておられますが、それはいつの間、目的があつてのことです。

ところで、敵は大変不満ですよ。物凄く不満です。

イスラエルの諜報機関は、この数ヶ月の間に、世界中で少なくとも30件のテロ攻撃を阻止しました。皆さんご存知の通り、昨年夏、我々の諜報がオーストラリア当局に提供されたため、彼らは大型旅客機A-380が空中爆破する24時間前に、犯人を止め逮捕したのです。その計画があることを我々は発見し、即座に、その情報をオーストラリアに渡しました。これを行なったのは、たった4人のイスラエル人兵士たち、しかも彼らは19歳です！（会場拍手）

では、今、我々にこの静寂があるのは、なぜなのか？

私たちは自問すべきです。なぜか？

今、戦争が起こっていてもおかしくないのです。私には理解出来ませんが、実に多くの人が戦争を求めているのです。

① 第一に、私が思うに、数えきれないほどの祈りが聞かれたためです。私たちが祈れば、神がその祈りに答えてくださると、私たちは信じています。神は、聞いておられます。

② また、地域が、戦争に向けて備えられているのだと思います。皆さん、次のことを理解しておいてください。イスラエルの経済、イスラエルの繁栄がどれほどのものなのか、先ほどご説明しましたね？アメリカがどれほど上手く行っているかもご説明しました。ところが、ロシアは下降中。イランもトルコも下降中。皆さん、理解しなければなりません。世界のこちら側で素晴らしい事が、他の部分では大惨事なのです。ですから、ここでの静けさは、近い将来起こる嵐の準備ですが、今、目にしていることに対して、非常に怒っている者たちがいるのです。地域の戦争への準備として、ロシア、トルコ、イランは流血していなければならず、彼らは現在、血を流しています。そして、イスラエルは繁栄していなければなりません。これがエゼキエルの告げている事です。私が言っているのではありません。彼らが攻めて来るためには、イスラエルの地は安全、安心、繁栄していなければならず、彼らは、物を分捕るために来る、かすめ奪うため、略奪するために来るのだ、とエゼキエルは告げています。彼らが動くのには絶望的な経済的事情があることを、皆さん、理解しておかなければなりません。

③ 第三の理由、今のこの時期の静寂は、エルサレムの地位が確立され、次に備えるためです。——つまり神殿です。

皆さんに一つ、お話したいことがあります。これについては、皆さん、どうか誤解しないでください。ここ2週間の間、先ほども言った通り、イスラエルは歓喜しています。これまでに味わったことのないものです。それは、イラン協議からの撤退だけでなく、12の巨大金庫の中身を我々が持ち出せたことだけでもありません。テヘランのど真ん中から、イランの最も聖なる核プログラム、彼らがずっと否定してきた物を、我々は彼らの

倉庫の中に入り、これらの金庫を開けて、中身を全部取出し、それらを2台のトラックに乗せました。2台のトラックは2方向に分かれて発車し、国境を越えてアゼルバイジャンに行きました。そこから彼らは、別の国へと飛行して、そこからまた別の国に船で送られ、そこからテルアビブに到着し、その後の10日間で、我々はイスラエル諜報部員の中の、ペルシャ語を話せる者たちをすべて採用しました。イランについて決断する前に、全てを翻訳するためです。そして我々は決断しました。全てを翻訳するのにちょうど30日かかりました。そこからベニヤミン・ネタニヤフは、トランプ大統領に会うためにワシントンに飛び、すでに首相は全てのコピーを大統領に渡しました。そして大統領の諜報機関を連れてきて、その書類の信憑性を自身で確認してもらうように頼みました。そしてそれらは確かに本物だったのです。

皆さん、私たちはイランの核機密を暴露し、トランプ大統領は協議から撤退、私たちは1974年以来最大で、最も包括的な空爆によって、シリア国内のイランを攻撃し、彼らはその場からほぼ消滅しました。

エルサレムに大使館が移転しています。それも1カ国だけではなく、今のところ4ヶ国の大使館がエルサレムに移転しています。アメリカは、他の国々もそれに従えるように、道を敷きました。そして、これら全てが、非常に多くのイスラエル人たちに——私はインターネットで見ているのですが、イスラエル人たちは初めて——私はまだ二十歳で…二十歳ですから（笑）ハイ、45歳です（笑）。45年の私の人生の中で、これほどのイスラエル人たちが「メシアの時代」、「メシアの日」という言葉を使っているのは、これまでに一度も聞いたことがありません。

よく聞いてください。

彼らはトランプ大統領のことを、この男は本物かもしれない、と思っているのです。現実であるには、素晴らしすぎるからです。私たちの欲しいもの、全てが与えられるのです。私たちがそれについて考えていると、彼はそれを行なっているのです。そこで彼らは、これは神のご介入に違いない、これは神からに違いない、と考えています。そして「彼はメシアのようだ」という言葉を、皆が使っているのです。私はそれを聞いた時、それから思ったのです。もし友好的で保守派の大統領が、エルサレムの地位を保証したことで、人々が「彼はメシアかも知れない」と思うのなら、——想像できませんか？

リベラルのヨーロッパ人が、エルサレムに神殿を建てることをユダヤ人に許可した時には、彼らは自動的に彼をメシアとするでしょう。皆さん、今私たちは何を見ているのか分かりますか？

私たちが見ているのは、イスラエル人たちの心の受け入れる準備が整う様子、きっと外国人、外国の指導者がメシアなのかもしれないと考え、思いを巡らせている様子です。私はこれまでの人生の中で初めて聞きました！私は、自分が生きてこれを聞こうとは、想像もしていませんでした。それが皆さん、この平穏な時代が、一方ではエルサレムを我々の手に治め、エルサレムの地位をイスラエルのものであると確立し、今はもはや、エルサレム分断については一切語られていません。それはもう、なくなりました。今語られているのは、「神殿はどこに建つのか？」「いつ？」「どのようにして？」



皆さん、在イスラエルアメリカ大使が、アル＝アクサー・モスクの隣に、神殿が建っているポスターと一緒に写っている写真が撮影されていました。昨日の事です。

すると、パレスチナ指導たちは激怒していましたが、——もちろん、それぞれにそれぞれの事情がありますからね——それでも、よく考

Figure 9 「神殿」が建っているポスターと写真に納まっているフリードマン在イスラエルアメリカ大使

えてみてください。彼はそれを持つのも嫌だったようで、他の人が彼の隣でポスターを持っていましたが、今や、全世界がそれについて語っているのです。

ただ私は、今のこの静寂の時期、恵みの時期は、聖徒たちが見張り人として従事するための期間だと思っています。

見張り人とは、何ですか？

戦争が迫っていることが見えている者、高い位置にいて、自分にはそれが見え、自分が世にそれを警告しなければならないことを理解している者です。

見張り人は、戦士ではありません。

戦士とは、すでに起こっている戦争で戦う者のことです。見張り人は、戦争が起こる前にそれが迫っているのが見えている人のことです。

だから私たちは、見張り人として召されているのです。

私たちは人々に警告を与えるように命じられています。

私たちは、福音を宣べ伝えるように命じられています。

私たちは、差し迫る私たちの旅立ちに備えるように命じられています。

皆さん、理解していますか？私たちが今、目撃しているのは、物凄い事です！

面白い事に、トランプ大統領は昨日、このように述べています。

「皆さん、自己満足してはいけませんよ！」

彼は、政治について話していて、中間選挙の話をしている時にこう言ったのです。

「我々は、2016年には当選したが、2018年で眠るわけにはいかないんだ！」

そこで私は今、彼がキリスト教用語を使えたら良いのに！と思ったのです。

そして、言ってくれたら良いのに。

「今は恵みの期間だ。眠っちゃいけない！」

「今、すべきことをするんだ！」

「目を覚ませ！」

だから、私たちには静寂が必要なのです。そして、まさに今がその時です。

これは恐らく、長くは続かないでしょう。それでも目的があって、いつかの間与えられているのです。

ところで、なぜ嵐ですか？

なぜ神は、嵐が起こる事を許されるのでしょうか？

① まず第一に、人の心の、真の意図を顕わにするためです。

イスラエルの敵の全ては、イスラエルと戦うために神が送られるわけではありません。しかし神は、彼らがイスラエルと戦うことを許されます。しかしその後、神は戻って来られ、そのことで彼らを罰せられます。彼らが既に憎んでいるから、神は、彼らがやりたいようにすることを認められるのです。それから神は、その事で彼らを罰せられます。

神は間もなく、顕わにされます。

ところで、それは、積極的な敵だけではありませんよ？彼らがそれをするのを、静かに認めている者たちにも、です。人間の心を顕わにするため。

② それから、嵐が来る第二の理由は、サタンの計画が阻止され、神が栄光をお受けになるため。聖書には、

エゼキエル 38 章に次のようにあります。確かに嵐は襲います。そして神は、それが襲う理由を告げておられます。まず第一に、神が言っておられるのは 9 節。

- 9 あなたは、あらしのように攻め上り、あなたと、あなたの全部隊、それに、あなたにつく多くの国々の民は、地をおおう雲のようになる。
- 10 神である主はこう仰せられる。その日には、あなたの心にさまざまな思いが浮かぶ。あなたは悪巧みを設け、

(エゼキエル 38:9~10)

ほら、悪巧み。さっきお話ししましたよね？その悪巧みを暴露するのです。

- 11 こう言おう。『私は城壁のない町々の国に攻め上り、安心して住んでいる平和な国に侵入しよう。彼らはみな、城壁もかんぬきも門もない所に住んでいる。』
- 12 あなたは物を分捕り、獲物をかすめ奪い、今は人の住むようになった廃墟や…

(エゼキエル 38:11~12)

ここで告げられているのは、イスラエルが故国に戻る事、廃墟であった場所に再び人が住むようになり、そこに敵がやって来ますが、目的の全ては、ただ物を分捕り、獲物をかすめ奪うためである。また、ここで描写されているイスラエルは、敵が攻撃しようとするぐらいに、非常に平和で、非常に安心していて、明らかに繁栄しています。

それから、非常に興味深い事に、神はこう告げておられます。15 節。

- 15 あなたは、北の果てのあなたの国から、
地図を見てみると、北の果てとはどこでしょう？ロシアです。それからこう言われます。
彼らは、ただ北の果てから来るだけでなく、

多くの国々の民を率いて来る。彼らはみな馬に乗る者で、大集団、大軍勢だ。

- 16 あなたは、わたしの民イスラエルを攻めに上り、終わりの日に、あなたは地をおおう雲のようになる。ゴグよ。わたしはあなたに、わたしの地を攻めさせる。それは、わたしがあなたを使って諸国の民の目の前にわたしの聖なることを示し、彼らがわたしを知るためだ。
- 17 神である主はこう仰せられる。あなたは、わたしが昔、わたしのしもべ、イスラエルの預言者たちを通して語った当の者ではないか。この預言者たちは、わたしがあなたに彼らを攻めさせると、長年にわたり預言していたのだ。

(エゼキエル 38:15~17)

面白い事に、エゼキエルは自分のことを過去形で語っています。彼は、過去形で書いています。エゼキエルは、神が、将来ゴグに告げられることを書いています。

「エゼキエルが語っていたのは、おまえのことだ！」

と。凄いですね！それから主は言われます。

- 23 …多くの国々の見ている前で、わたしを知らせるとき、彼らは、わたしが主であることを知ろう。

(エゼキエル 38:23b)

神は、イスラエルの敵たちの悪巧みを使い、悪い考え、悪い意図を使って、ご自身が栄光をお受けになります。

ということで、なぜ戦争なのか？神が、戦争を取り仕切られるのではありません。神は、すでに彼らの頭の中にあるものを、許され言われるのです。

「さあ、好きなようにすれば良い。しかし、あなたがたは敗北する。そして全世界がそれを見るのだ。わたしが主であり、全てを見通す者だからだ。

あなたは自分で分かっているつもりでいるだろうが。

ミスター プーチン。あなたは何も知らない。

ミスター エルドアン。あなたは何もわかっていない。

ミスター ロウハニー。学校に行きなさい。あなたは何もわかっていない。」

イスラエルの神である主は、あなたが考えもしないうちから、あなたの考えることを知っておられる。驚きです。

③ そして三番目。なぜ嵐なのか？それは、我々の試練の舞台設定をするためです。

我々の試練。何の試練ですか？

わたしがこの戦争を勝利したのだ！

わたしが、あなたの神だ！

わたしがこの戦争を戦ったのだ！

あなたがたは、わたしに従うか？

そこへ、平和をもたらす人が登場するのです。

「そうか。あなたがたは、彼に従うのだな。」

試練の時です。この試練の時に、反キリストが興り、平和をもたらします。

皆、理解していませんが、反キリストは戦争の人ではありません。彼は、平和の人です。彼が、ユダヤ人、イスラエル人の心を捉えるのは、彼が戦争を戦うためではなく、平和をもたらすからです。彼が、神殿を建設することを認めるからで、彼は愛される人になるのです。彼は、彼らが最も称賛する人物です。それも、エゼキエルが描写している、恐ろしい戦争の後です。彼はそこへ出て来て、あなたは大丈夫だ、安全だと言うだけでなく、

「私はあなたがたに、2000年ぶりに神殿を建設することを認めよう」

と言うのです。

「エルサレムがあなたがたのものかどうかの問題ではない。それは、あなたがたのものだ。我々が創設したんだ。今は、神殿を建てられるのだ。さあ、行いなさい。」

そしていったん、神殿建設が終わり、いけにえをささげるようになると、彼は言うのです。

「申し訳ないが、あなたがたは間違っただけだ。私が神だ。」

ユダヤ人が、彼を神として拝むと考えると、なんと愚かな男でしょう！

皆さん、覚えていてください。

ユダヤ人がイエスを拒絶した理由は、彼がメシアであったかどうかではありません。

彼らにとっての問題は、冒涇です。

なぜなら、メシアは人間であって、神ではあり得ないと彼らは信じていたのです。

従って、イエスが、自分が神だと言うなら、それは冒涇であり、そのためにイエスを裁判にかけたのです。ですから、反キリストが来て、第二テサロニケ2章や、ダニエル9章、11章にあるように、「私が神だ」と言うなら、その時にユダヤ人は言うのです。

「申し訳ないが、あなたは神じゃない。我々は、神が誰だか知っている。」
すると反キリストは、ユダヤ人たちをはるか荒野にまで追って行きます。

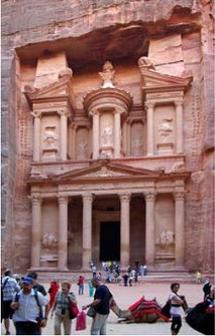


Figure 10

ペトラのエル・カズネ

皆さんをペトラにお連れしますよ！
ここをご案内できるのは、わたしの特権です。
恐らく、そこに私の国は1,260日間隠れます。
興味深いですね。ボツラの辺りです。

ですから反キリストが興り、平和をもたらすためには、戦争が起こらなければなりません。
それはお分かりですね？だから神は、その嵐が襲うのを許されるのだと、私は思います。
もしエルサレムの保証だけで、ユダヤ人たちがすでにメシア時代について語っているなら、
神殿が建設されればどうなるのでしょうか？

彼らは確実に、その男をメシアとして信じるでしょう。

試練の時が、そこまで迫っています。静寂、嵐、偽の平和、そして本当の裁きが訪れます。
神の裁き、神の御怒り。黙示録3章10節には、こうあります。

10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。

(黙示録3:10)

私は、神が、反キリストが本性を現す前に、彼が世界指導者として現れ、世界を惑わす前に私たちを連れ去られる、と信じています。だから、非常に重要なのです。

11 わたしは、すぐに来る。あなたの冠をだれにも奪われないように、あなたのもっているものをしっかりと持っていなさい。

(黙示録3:11)

今眠ってしまうのは非常に簡単です。自己満足に陥って。

アメリカは繁栄している、イスラエルは繁栄している。

ものごとは上手く行っている。全てが素晴らしい！

事実は、今は最後の時間、嵐の前です。

今こそ皆さんは自問するべき時です。

「私は信じているだろうか？」

「私は、神を知っているか？」

「私は、救われているか？」

「彼が私たちを連れに来られた時、私は一緒に連れて行かれるか？」

「私は聖霊を持っているだろうか？」

「私は彼を知っているか？彼の苦しみは？彼のよみがえりの力は？」

「私は彼の子どもだろうか？」

もちろん、あなたが新生していれば、それが起こった事ははっきりと知っているはずですよ。ヨハネ3章3節がはっきりと告げています。

3 …人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。

(ヨハネ3:3)

第一の誕生は、誰もが持っているものです。

第二の誕生が、あなたに必要なものです。なぜなら、二度生まれている者は？

——二度目の死を味わうことがない。

これは、信じない者たちのための、永遠の死です。

アーメン！

ということで、イスラエルに関して、皆さんに明確にしておきます。

神は、フラッグシップとなる国が欲しかったのです。世の手本となる国。

それは、彼らの行いではなく、彼（イエス）の行いです。

私たちは、神とイスラエルの間の、捻じれたり倒れたりするラブストーリーを観察し、私たちが従うべき部分を学ぶことが出来るのです。

また私たちは、彼（イエス）が真実であられることを知ることが出来、

彼の基準を知ることが出来、彼の愛と情熱、あわれみを知ることが出来、

同様に彼を拒絶し他のものところへ行つた時の、彼のねたみと御怒りも、私たちは知ることが出来るのです。

そしてもし、あなたが、イスラエルを忘れるという罠に陥るなら、もしくは、神は、彼らのことはすっかり忘れてしまわれたと考えるなら、実際には、あなたは神を傷つけているのです。

私はいつも言いますが、イスラエルはあなたの保険証書です。

神の真実、愛、契約を守られるご性質。(会場拍手)

ということで、静寂を楽しみ、嵐を待ちつつ、私たちは自問しなければなりません。

「私たちは、準備が出来ているだろうか？」

では最後に、お祈りをして終わりたいと思います。世の中の状況は、さらに激しくなる一方で、ただ人間の心と、敵の意図を顕わにしているだけに過ぎません。それでいて、同時に神は、続けてイスラエルを繁栄させてくださいます。全て彼の栄光のため、彼の目的のためです。そして、その時が来れば、私たちはここを出て行きます。今は終わりの日々ではなく、私たちは終わりの時間を生きている、と私は強く思うのです。では、お祈りしましょう。

お父様、あなたに心から感謝します。

あなたは、誰一人として滅びることを望まれず、皆がイエスを知って、救われることを望んでおられます。

あなたは、ある人たちが遅いと思っているように、約束を遅らせておられるのではなく、忍耐しておられます。

お父様。あなたは、日を定めておられることを、私たちも知っています。私たちはその日、その時は知りませんが、しかし、あなたは日を定めておられます。

あなたの花嫁を迎えに来られる日、そして世に裁きが下される日です。

また、誰も言い訳が出来ないことも、私たちは知っています。

無知の時代は、はるか昔に過ぎ去っていて、イエスが来られた時、あなたは、あらゆる場所の全ての人に、「もう十分だ！」と悔い改めを命じられました。

お父様。あなたは、私たちが従事するのに必要な貴重な恵み、平和、静寂、繁栄の時を与えてくださっていることを、私たちは理解しています。

福音を宣べ伝え、時が良くても悪くても、どこにいても彼について語る。今がその時。あなたは、あなたの子どもたちが、城壁の見張り人であることを望んでおられます。

お父様。あなたは、あなたの子どもたちに、備えが出来ていることを望んでおられます。

本物のロイヤル・ウェディングに向けて、自分自身を備える時を。

今日、私たちはあなたの御前に進み出ます。そして、イザヤが言ったように、私たちも伝えます。

「ヒネニ。私がここにいます。私をお遣わしてください。」

今日、私たちはここにいます。私たちをお遣わしてください。

あなたに感謝し、あなたを祝福します。私たちがあなたの御前に出られるのは、私たちではなく、あなたがあなたであるからです。あなたは愛と情熱です。

今夜、あなたの御名を祝福します。

イスラエルの聖なる方、ユダ族の獅子、神の小羊、平和の君、インマヌエル、私たちの救いであるイエシュア、イエスの御名によって祈ります。

そして、神の民は、皆で言います。

アーメン！

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

生命尊重派の Gala ディナーで演説するトランプ大統領 : Behold Israel Bible & News Roundup “Thankful to watch him live and meet him in person.” May 24, 2018

エルサレムに移転したアメリカ大使館の礎石 : David M. Friedman のツイッターより 2018. 5. 15

あのロイヤルウェディング… : Prince Harry and Duchess Meghan ‘Snuck Off’ Before Their Wedding Officially Ended May 23, 2018

トルーマン米元大統領 : Wikipedia “Harry S. Truman”

マーシャル米元国務長官 : Wikipedia “George Marshall”

ゴルダ・メリア イスラエル元首相 : Wikipedia “Goldah Meir”

ニクソン米元大統領 : Wikipedia “Richard Nixon”

2015年10月、国連演説での怒りの沈黙 : You Tube “45 Seconds of Deafening Silence From United Nations during Benjamin Netanyahu Speech”

インタビューに答えるネタニヤフ首相 : You Tube “Netanyahu on Israel’s relationship with the Arab world” Fox News 2018/5/19

サウジアラビアで大歓迎を受けるトランプ大統領 : You Tube “TRUMP TOURS SAUDI ARABIA LIKE A KING” Trump

Dayz 2017/5/21

冷遇されるオバマ元米大統領 : The Guardian “Obama’s chilly reception in Saudi Arabia hints at mutual distrust” 2016/4/21

「神殿」が建っているポスターと写真に納まっているフリードマン在イスラエルアメリカ大使 : THE TIMES OF ISRAEL “US Embassy: Image of Jewish Temple ‘thrust in front’ of envoy Friedman for photo” 22 May, 2018

ペトラのエル・カズネ : Wikipedia “Petra”